安全データシート

ジメチル=メチルホスホナート

改訂日：2024-01-29 版番号：1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: ジメチル=メチルホスホナート
CB番号	: CB8418753
CAS	: 756-79-6
同義語	: ジメチル=メチルホスホナート

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 化学兵器原料
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	： Chemicalbook
住所	： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	： 010-86108875

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

(物化危険性及び健康有害性)

GHS改訂4版を使用

H31.3.15、政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改訂版 (ver1.1):JIS Z7252:2014準拠) を使用

物理化学的危険性

引火性液体　区分4

健康に対する有害性

生殖毒性　区分2

生殖細胞変異原性　区分1B

分類実施日

(環境有害性)

環境に対する有害性はH18年度、GHS分類マニュアル(H18.2.10版)を使用

環境に対する有害性

-

GHSラベル要素

絵表示

健康有害性

GHS07	GHS08

注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体 遺伝性疾患のおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

応急措置

火災の場合:消火するために...を使用すること。 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

-

---

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: ジメチル=メチルホスホナート
別名	: メチルスルホン酸ジメチル(別名-ジメチル=メチルホスホナート)　メチルホスホン酸ジメチル
濃度又は濃度範囲	: 100%
分子式 (分子量)	: C3H9O3P (124.08)
CAS番号	: 756-79-6
官報公示整理番号	: 2-1961
(化審法)	
官報公示整理番号	: 情報なし
(安衛法)	
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: -

---

4. 応急措置

「2.危険有害性の要約」における応急措置も確認すること。

吸入した場合

医師の手当、診断を受けること。

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

化学物質が除去されるまで、多量の水と石鹸で洗うこと。

医師の手当、診断を受けること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぐこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

医師の手当、診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

情報なし

医師に対する特別な注意事項

情報なし

---

5. 火災時の措置

消火剤

第4類,指定可燃物可燃性液体 | 耐アルコール性泡消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤(りん酸塩類等、炭酸水素塩類等)、乾燥砂、膨張ひる石又は膨張真珠岩

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

下水溝に流れ込むと火災、爆発の危険がある。 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。これが不可能な場合には、その場所から避難し、燃焼させておく。 容器内に水を入れてはいけない。 物質が燃えていないとき、物質に水をかけてはいけない。 火災の場所に大量に散水し、水噴霧によって蒸気濃度を低下させる。 水が十分に供給されないときは蒸気濃度を低下させるだけにする。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

情報なし

環境に対する注意事項

情報なし

封じ込め及び浄化の方法及び機材

情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

情報なし

接触回避

情報なし

衛生対策

情報なし

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

容器を密閉して冷乾所にて保存すること。

熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避けること。

安全な容器包装材料

消防法で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産衛学会(2019年度版)

未設定

許容濃度

ACGIH(2019年度版)

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。 適切な呼吸器保護具を着用すること。

保護具

呼吸用保護具

情報なし

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

---

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状	液体
色	データなし
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	情報なし
pH	データなし
69℃ (不明)	
データなし	
データなし	
データなし	
0.962mmHg (25℃)	
データなし	
1.1684g/cm3 (20℃)	
水: 対水:1000000mg/L (25℃)	
-0.61	
データなし	
データなし	
データなし	
181℃	
データなし	

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

181℃

引火点

69℃ (不明)

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

燃焼性(固体、気体)

データなし

燃焼又は爆発範囲

データなし

蒸気圧

0.962mmHg (25℃)

蒸気密度

データなし

比重(相対密度)

1.1684g/cm3 (20℃)

溶解度

水: 対水:1000000mg/L (25℃)

n-オクタノール/水分配係数

-0.61

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

粘度(粘性率)

データなし

---

10. 安定性及び反応性

反応性

「危険有害反応可能性」を参照。

化学的安定性

情報なし

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

---

11. 有害性情報

急性毒性

経口

RTECS(2004)のラットのLD50=8210mg/kgから、区分外とした。

経皮

データなし。

吸入:ガス

GHSの定義における液体。

吸入:蒸気

データなし。

吸入:粉じん及びミスト

データなし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし。

呼吸器感作性

データなし。

皮膚感作性

データなし。

生殖細胞変異原性

NTP TR323(1987)およびRTECS(2004)に優性致死試験で陽性の報告例があり、経世代変異原性が考えられ、区分1Bとした。

発がん性

データ不足のため分類できない。

(NTP TR323(1987)において、雄ラットで腎臓への発がん性が若干示唆されているが、雌ラットでは陰性であった。マウスでも明確な陽性は認められなかったが、生存数減少のため発がん性評価には不十分であった。)

生殖毒性

NTP TR323(1987)およびRTECS(2004)において、ラットおよびマウスの雄の生殖能試験で受胎率の低下、雄性生殖器への影響等が報告されている。生殖細胞変異原性においても優性致死作用が認められており、区分2とした。

---

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)

データがなく分類できない。

水生環境有害性(長期間)

データがなく分類できない。

オゾン層への有害性

-

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

該当しない

国連品名

該当しない

国連危険有害性クラス

該当しない

副次危険

該当しない

容器等級

該当しない

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78附属書Ⅱ及び

IBCコードによるばら積み

輸送される液体物質

該当しない

国内規制

海上規制情報

該当しない

航空規制情報

該当しない

陸上規制情報

消防法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。

特別な安全上の対策

消防法、毒物及び劇物取締法の規定によるイエローカード携行の対象物

その他 (一般的) 注意

化学品を扱う場合の一般的な注意として、輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号*

該当しない

---

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物(指定令第2条)

消防法

危険物第4類第2石油類

---

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA:国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

【2】化学物質審査規制法(化審法)https://www.env.go.jp

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) https://www.chemicoco.env.go.jp

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)https://www.nite.go.jp/

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

免責事項：
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。